

企画展

科博の標本・資料でたどる

# 軌跡 日本の哺乳類学の

ハチ！  
生誕100年  
おめでとう！！

戦後の日本の哺乳類学を先導  
今泉 吉典

科博で初めて  
哺乳類を専門的に研究  
波江 元吉

Mammaliaを「哺乳動物」と翻訳  
宇田川 榕菴

日本の博物館の父  
田中 芳男

日本の哺乳類を  
ヨーロッパに紹介  
シーボルト

100年以上前に  
ドイツから来たんだ

「世界三大珍獣」を選抜  
高島 春雄

こう見えても  
キリンの親戚なの

日本人初の哺乳類学徒  
青木 文一郎

天然記念物なのに  
狩られてます

2023  
4.25 TUE  
8.16 WED

## 国立科学博物館 (東京・上野公園)

→ 日本館1階企画展示室

開館時間：午前9時～午後5時

※4月29日(土)～5月7日(日) および  
8月11日(金)～8月15日(火)は午後6時まで  
※入館は閉館時刻の30分前まで

休館日：月曜日・6月27日(火)～30日(金)

※ただし5月1日(月)・6月12日(月)・7月17日(月)・7月24日(月)・31日(月)  
8月7日(月)・14日(月)は開館

入館料：一般・大学生630円(団体510円)

※常設展示入館料のみでご覧いただけます。※団体は20名以上  
※高校生以下および65歳以上は無料



### 国立科学博物館

National Museum of Nature and Science

【主催】国立科学博物館 【後援】日本哺乳類学会  
【お問い合わせ】TEL.050-5541-8600(ハローダイヤル) FAX.03-5814-9898  
【ホームページ】<https://www.kahaku.go.jp/>

※会期等は変更となることがあります。 ※入館方法の詳細はホームページをご覧ください。

Tracing the Trajectory of  
Mammalogy in Japan

# 科博の標本・資料でたどる 日本の哺乳類学の 軌跡

## 未来をつむぐ、 継承のものがたり。

2023年は日本で初めて哺乳類を研究する学術団体ができて100周年の年であり、日本の哺乳類が世界に紹介されるきっかけとなったシーボルト来日の200周年の年になります。本展では、国立科学博物館(科博)の哺乳類標本と関連する資料を用いて、我が国の哺乳類研究の歩みを紹介します。

### 第1章

#### 日本における 哺乳類学の始まりと発展

日本の哺乳類は、今から約200年前に外国人によって初めて研究されました。その後、明治時代になると日本人の専門家が登場し、1920年代には哺乳類の分類も進められます。1923年、日本で初めて哺乳類の学会が発足しますが、哺乳類研究が本格化するのには戦後のことです。まずは我が国における哺乳類研究の歴史を先人たちに注目して振り返ります。



僕は研究用のなめし皮、  
タイプ標本だよ。

#### 剥製種類クイズ

Q 次の剥製の種類(方法)を  
正しいものと結んでみよう。

仮剥製

本剥製

フラットスキン

研究用の標本。袋状に毛皮を剥いた後、中に綿を詰めて縫い合わせたもの。まるで「ぬいぐるみ」。

研究用の標本で、最も簡易なもの。袋状に剥いた毛皮の内部に厚紙を挿入し、平らな状態で乾燥させたもの。

生きていた形状や姿勢を再現した内部構造を持つ、展示用の毛皮標本。博物館展示で最も一般的な哺乳類標本。

答えと詳しい解説は  
会場でチェックしてね。



チラシに登場する標本たち

(表面・左上から)イヌ(ボルゾイ)、クチバテングコウモリ、コビトカバ、タイワンザル、キリン、ヤマジャコウジカ、ジャイアントパンダ、アジアゾウ、シベリアアイベックス、オカピ、ニホンカモシカ  
(裏面・上から)シャープグリズボック、イリオモテヤマネコ、コウベモグラ、ツチブタ

### 第2章

#### 科博と哺乳類学

日本の哺乳類学の歴史において、科博は標本の集積と啓蒙普及に重要な役割を担ってきました。ここでは科博が誇る哺乳類コレクションの時代的変遷を概観しながら、哺乳類学とともに発展してきた標本の製作技術についても紹介します。



#### 監修者から 展示の楽しみ方

国立科学博物館  
動物研究部  
脊椎動物研究グループ

川田 伸一郎

普段展示には出さない秘密の研究用標本。その中から僕のお気に入りを選びました。標本は誰かがどこかで何らかの目的で収集したものです。それぞれにエピソードがあります。哺乳類学の歴史だけでなく、標本の歴史にも思いを馳せてみませんか？

### 第3章

#### 哺乳類学の 現在とこれから

第二次世界大戦以降、科学技術の進展と、私たちの自然環境への関心が高まってきたことにより、哺乳類の研究分野も多様化してきました。先人たちから受け継がれてきた哺乳類学はこれからどこへ向かうのか。その未来を見据える博物館の取組みを紹介します。



- JR / 「上野駅」公園口から徒歩5分
  - 東京メトロ銀座線・日比谷線 / 「上野駅」7番出口から徒歩10分
  - 京成電鉄 / 「京成上野駅」正面口から徒歩10分
- ※当館には駐車場および駐輪場はございません。

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20  
Tel 050-5541-8600 (ハローダイヤル)  
Fax 03-5814-9898

<https://www.kahaku.go.jp/>

※詳細はホームページをご覧ください。



国立科学博物館  
National Museum of Nature and Science